



掛札逸美

かけふだ・いつみ／心理学博士。NPO法人保育の安全研究・教育センター代表。健康心理学、特に子どもの傷害予防と安全の心理学を専門とする。



(贈り物の季節。「大人用ギフト」にも要注意！)

マグネット玩具による深刻な事故

もうすぐクリスマス、年末年始。贈り物のやりとりもふえますね。子どものおもちゃは安全についてきちんと考えていても、思わぬ落とし穴となるのが「大人用ギフト」。

今、要注意なのは、「立体パズル」「レアアース磁石キット」といった名称で販売されている、直径約5mmの強力な球形磁石を数十個用いて、さまざまな形を作ることができる大人向けのおもちゃ。これは、EUや北米、オーストラリアでは類似品も含め、すべてリコール対象となっています。子どもが誤飲をするためです。

「大人用でしょ？ 子どもの手の届くところに置くほうが悪い」…たしかにそのとおり。でも「万が一」を考えてみてください。このおもちゃの場合、飲んでしまったときの傷害は非常に深刻です。磁力の比較的弱い、メモなどをとめる磁石でさえ、2個以上飲みこむと深刻な結果になる場合があります。腸内を移動していく途中で偶然、腸壁をはさんで磁石がくっついてしまうと、腸壁に炎症が起き、穴があくのです。

特に、この大人用磁石玩具の場合、キャンディのようにも見え、小さくて飲み込みやすいうえ、とても強力。おなかの中で37個がネックレスのようにつながってしまい、胃に1か所、腸に3か所、穴があいて大手術となった3歳のお子さんもいます。発見が遅れば、命にもかかわりかねません。遊びに行った親戚の家で、子どもがこの磁石玩具を複数飲みこんでしまったケースもあります。

食べ物形ギフトの危険

もうひとつの要注意ギフトは、食べ物形をした消しゴム、石けん、浴用剤、ロウソク、飾りなどなど。EU圏内では、「子どもが誤って食べる恐れがある」「口に入れて窒息する恐れ

がある」として、どれもリコール対象です。日本にこのようなギフトが非常に多いことはみなさん、ご存じでしょう。

「磁石も食品形ギフトも、日本では深刻な事故は起きていないでしょ？」…わかりません。日本の場合、深刻な事故が起きても保護者の意向によっては公表されません。「子どもを守るのは保護者の責任」「事故が起きたら、親が悪い」といった論調が多い今、「私が悪かった」と親御さんが自責の念に駆られるばかりで、表に出ない深刻事故は（ここに書くことはできませんが）多いのです。

他国でのリコールの背景には、事故の事例があります。「日本でリコールされていないから大丈夫」ではなく、贈り物を選ぶときももらうときも、子どもの安全を考えましょう。

